

2026 年 5 月 26 日

次世代半導体パッケージのコンソーシアム「JOINT3」に 新たに堀場アドバンステクノが参画

株式会社レゾナック（代表取締役社長 CEO：高橋秀仁、以下、当社）が主導する共創型評価プラットフォーム「JOINT3」に、新たに株式会社堀場アドバンステクノ（代表取締役社長：西方健太郎、以下、堀場アドバンステクノ）が 2026 年 5 月に参画しました。これにより JOINT3 の参画企業は 28 社になります。同社が有する高度な技術を取り込むことで、JOINT3 におけるパネルレベル有機インターポージャーの研究開発をさらに加速していきます。

堀場アドバンステクノは、半導体産業において不可欠な水・液体計測技術を強みに、製造プロセスの高度化に貢献してきました。今後、半導体のさらなる高性能化には、次世代半導体パッケージ技術の革新が重要であり、また多くの技術課題への対応が求められています。HORIBA グループが有する分析・計測・制御の多岐にわたるコア技術を生かし、JOINT3 における研究開発および課題解決に貢献してまいります。

当社は JOINT3 を通じて、パネルレベル有機インターポージャーをはじめとする次世代半導体パッケージの技術研究開発を推進し、半導体のさらなる進化と産業の発展に貢献してまいります。

【JOINT3 について】

JOINT3 はグローバルの半導体材料・装置・設計ツールメーカーが共創し、パネルレベル有機インターポージャーの試作ラインを使い、同技術に適した材料・装置・設計ツールの開発を推進します。当社が開設予定の JOINT3 活動拠点「APLIC（Advanced Panel Level Interposer Center：先端パネルレベルインターポージャーセンター）」では、実際の構造に近い環境で検証を行うことが可能となり、参画企業の技術開発を加速します。

【HORIBA グループならびに堀場アドバンステクノについて】

HORIBA グループは、世界 29 の国と地域に 47 のグループ会社を持ち、グローバルな事業を展開する分析・計測システムのリーディングカンパニーです。社会に欠かすことのできない「エネルギー・環境」「バイオ・ヘルスケア」「先端材料・半導体」という 3 つのフィールドに向けて、先進的なソリューションを展開しています。半導体製造工程にお

いては、ガス流量制御や薬液濃度管理など多くのプロセスで重要な役割を果たしています。水・液体計測事業を担う堀場アドバンステクノは、浄水から排水・下水まで、水資源の循環をさまざまな側面から支えるとともに、薬液を正しくはかる技術を通して、最先端の半導体製造プロセスから創薬の研究に至るまで、幅広い領域で貢献しています。

堀場アドバンステクノ公式 Web サイト：<https://www.horiba.com/jpn/water-liquid/>



JOINT3 ロゴ（参画企業集合ロゴ）

以上

【Resonac（レゾナック）グループについて】

レゾナックは、2023年1月に昭和電工と旧日立化成が統合して発足した機能性化学メーカーです。2025年度の半導体・電子材料の売上高は5,000億円を超え、特に半導体の「後工程」材料では世界トップクラスの企業です。2社統合により、材料の機能設計はもちろん、自社内で原料にまでさかのぼって開発を進めています。社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistryの「C」の組み合わせです。今後さらに共創プラットフォームを生かし、国内外の半導体メーカー、材料・装置メーカーとともに技術革新を加速させていきます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス
ブランド・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ